



教育目標

- すすんで学び、高い知性を身につけよう
- 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう

- ◎社会の一員として、思いやりのある人になろう
- からだをきたえ、健康な人になろう

1 目指す学校像

- (1) 教師も生徒も授業を大切にし、学び合い・育ち合いができる学校
- (2) 思いやりのある豊かな心が育まれ、生徒が生き生きと活動できる学校
- (3) 地域とともにコミュニティ・スクールの理念を生かす学校

2 目指す生徒像

- (1) 配慮と協働ができる生徒
- (2) 心身ともに健康で、確かな学力を身に付けるために努力できる生徒
- (3) 諸活動に意欲的に取り組み、目標に向かって頑張れる生徒

3 目指す教師像

- (1) 情熱があり、教育者としての使命感の強い教師
- (2) カウンセリングマインドを生かした生徒指導ができる教師
- (3) 生徒の良さを伸ばし、自信を付けさせることができる教師
- (4) 組織人として機能し、周囲との信頼関係が築ける教師

4 期待する家庭の姿

- (1) 基本的な生活習慣の育成に、当たり前前努力める家庭
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」で生活リズムの確立に努めている。
- (2) 子供の主体的な活動を見守り、好ましくない行動をきちんと正す家庭
 - ・親として子育てに責任をもち、学校・地域との連携に積極的に取り組んでいる。
 - ・正しい人権尊重の意識を備え、自分や他者の人権を大切にしよう子供に伝えている。

5 期待する地域の姿

- (1) 生徒一人一人を地域の子どもとして大切にする地域
 - ・子どもの健全育成に積極的に取り組んでいる。
- (2) 学校との協働により、自らの教育力・自治能力を高めようとする地域
 - ・地域の子どもとしての意識をもち、共に育むため、学校との連携に努めている。

6 指導の重点

(1) 学習指導

- ▶ ICT機器の効果的な活用など指導法の工夫と改善を図り、生徒に考えさせ、生徒に力を付ける授業、生徒にとって分かりやすい授業を展開します。

- ・始まりと終わりの挨拶の徹底、チャイム授業の実施
- ・基礎的・基本的な学力の定着を図るための手だてを講じ、生徒の学習に対する不安感や苦手意識を軽減（払拭）
- ・常に「考えさせる」授業の実践、話し合いや発表等の機会増大



(3) 特別活動

- ▶ 自他を大切にする集団生活の在り方を理解し、実践できる態度を育成します。

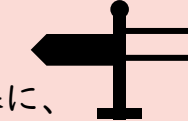
- ・生徒の創意工夫を生かした生徒会活動の推進、生徒の自治的・自発的態度、協力して課題解決を図ろうとする態度、いじめを許さない健全な精神の育成
- ・自然体験、生活体験、感動体験を通じた豊かな人間性と社会性の育成
- ・部活動を通じた精神力や体力の増進、自主的・実践的な態度の育成
- ・全教職員及び保護者の協力の下、部活動の充実を図る



(5) キャリア教育

- ▶ 三年間を見通した指導計画を基に、自己の特性と進路についての考え方を深め、望ましい学習観や職業観を身に付けさせ、主体的に進路選択できる能力を養います。

- ・「生き方を考えさせる指導」、将来において自己実現を図ろうとする意欲や態度の育成
- ・面談や保護者会、進路だより等をとおして、保護者の理解と協力を得て進路相談の充実、個に応じた進路指導の推進



(2) 道徳教育

- ▶ かけがえのない自他の生命を尊重する態度を育成します。

- ・生徒の興味・関心を喚起する資料の活用、「考え、議論する道徳」の実践、広い視野から多面的、多角的に考えさせ、道徳的な判断力・実践意欲の育成
- ・教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係づくり、家庭や地域との連携、生徒の豊かな人間性の育成
- ・生命尊重や人権尊重の精神の育成、規範意識の醸成、思いやりの心の育成



(4) 生徒指導

- ▶ 規律ある学校生活、自分や他者を大切にする指導を繰り返し行い、礼儀正しく挨拶のできる生徒を育成します。生徒とともに校則を見直していきます。

- ・基本的な生活習慣、集団の一員としての責任や他を思いやる心の育成、生徒と教職員の信頼関係、家庭や地域、教職員相互の信頼関係の構築
- ・いじめや不登校、問題行動等の未然防止、早期発見・対応
- ・生徒が成就感や達成感を実感できる生徒会活動、委員会活動



(6) 特別支援教育

- ▶ 特別な支援が必要な生徒に限らず、全生徒にとって適切且つ効果的な指導・支援を展開します。

- ・特別な支援が必要な生徒、特別な支援が必要と思われる生徒の実態把握、情報共有、早い段階から生徒の困り感に寄り添った指導・支援
- ・実践的な支援や合理的な配慮の在り方の共有、教職員の特別支援教育についての理解、支援技術の向上



7 地域・市民の信頼を深めるために

(1) 開かれた学校への取組

- ・保護者や地域等からの要望・意見等の的確な把握と迅速な対応、初期対応の重視、組織的対応
- ・生徒、教職員の地域行事等への積極的な参加、保護者、地域ボランティアの有効活用
- ・魅力ある行事、学校公開・保護者会・学校ホームページ等を通じ保護者・地域に学校教育活動を広報・周知

(2) 服務事故の防止

- ・教育公務員であることの自覚、職務の厳正
- ・体罰や生徒の人権を尊重しない言動等の慎戒、TPOにふさわしい身なりや言動
- ・公費・私費会計、個人情報（電子データ・紙媒体）の適切な処理

学校教育目標

- | | | |
|--------------------------|-----|--------|
| ○ すすんで学び、高い知性を身につけよう。 | (知) | |
| ◎ 社会の一員として、思いやりのある人になろう。 | (情) | [重点目標] |
| ○ 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう。 | (意) | |
| ○ からだをきたえ、健康な人になろう。 | (体) | |

1 目指す学校像

- (1) 教師も生徒も授業を大切にし、学び合い・育ち合いができる学校
- (2) 思いやりのある豊かな心が育まれ、生徒が生き生きと活動できる学校
- (3) **地域とともにコミュニティスクールの理念を生かす学校**

2 目指す生徒像

- (1) **配慮と協働ができる生徒**
- (2) 心身ともに健康で、確かな学力を身に付けるために努力できる生徒
- (3) 諸活動に意欲的に取り組み、目標に向かって頑張れる生徒

3 目指す教師像

- (1) 情熱があり、教育者としての使命感の強い教師 [職責・研修]
- (2) **カウンセリングマインドを生かした生徒指導ができる教師** [信頼・愛情]
- (3) 生徒の良さを伸ばし、自信を付けさせることができる教師 [個性・生きる力]
- (4) 組織人として機能し、周囲との信頼関係が築ける教師 [協働・連携]

4 期待する家庭の姿

- (1) 基本的な生活習慣の育成に、当たり前で努める家庭
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」で生活リズムの確立に努めている。
- (2) 子供の主体的な活動を見守り、好ましくない行動をきちんと**正す**家庭
 - ・親として子育てに責任をもち、学校・地域との連携に積極的に取り組んでいる。
 - ・正しい人権尊重の意識を備え、自分や他者の人権を大切にしよう子供に伝えている。

5 期待する地域の姿

- (1) 生徒一人一人を地域の子どもとして大切にする地域
 - ・子どもの健全育成に積極的に取り組んでいる。
- (2) 学校との協働により、自らの教育力・自治能力を高めようとする地域
 - ・地域の子どもとしての意識をもち、共に育むため、学校との連携に努めている。

6 指導の重点

(1) 学習指導

生徒一人一台のタブレット端末などのICT機器を効果的に活用するなど、各教科で指導法の工夫と改善を図り、生徒に考えさせ、生徒に力を付ける授業、生徒にとって分かりやすい授業を展開する。

ア 始まりと終わりの挨拶を徹底し（教師自らも）、チャイム授業を実施する。

イ 個別の学習支援も含め、基礎的・基本的な学力の定着を図るための手だてを講じ、生徒の学習に対する不安感や苦手意識を軽減（払拭）する。

ウ 問題解決型の授業など、常に「考えさせる」授業を実践し、生徒に「一人で考えさせる」時間を確保して、思考力・判断力・表現力等を高めさせる。また、小グループによる話し合い活動や発表等の機会を増やし、習得した知識・技能の活用を図って、対話的で深い学びを推進する。

(2) 道徳教育

かけがえのない自他の生命を尊重する態度を育成する。

ア 道徳の時間において、生徒の興味・関心を喚起する資料を活用するとともに、「考え、議論する道徳」を実践して広い視野から多面的、多角的に考えさせ、道徳的な判断力や実践意欲を育てる。

イ 日常の関わりの中から教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係を深めさせるとともに、家庭や地域との連携を深め、道徳教育のねらいの達成に努めて、生徒の豊かな人間性を育成する。

ウ 各教科や行事等との関連を深め、生命の尊重、人権尊重の精神を育成し、規範意識を醸成するとともに思いやりの心を育てる。

(3) 特別活動

ア 学級における教師と生徒、生徒相互の人的なふれ合いを深め、自他を大切にする集団生活の在り方を理解し、実践できる態度を育てる。

イ 生徒の創意工夫を生かした生徒会活動を推進し、生徒の自治的・自発的態度を育てる。組織的な生徒会活動の運営方法を身に付けさせ、協力して課題解決を図ろうとする態度を育てる。いじめを許さない健全な精神の育成を図る。

ウ 様々な行事により、自然体験、生活体験、感動体験をすることで、豊かな人間性と社会性を育てる。

エ 部活動において、生徒個々の興味と関心に応じた目標達成に向けての努力を促し、精神力や体力を増進させるとともに、自主的・実践的な態度を育てる。全教職員及び保護者の協力の下、部活動の充実を図る。

(4) 生徒指導

規律ある学校生活が学習の基盤であることを徹底するとともに、自分や他者を大切にする指導を繰り返す。礼儀正しく、挨拶のできる生徒を育成する。また生徒とともに校則を見直していく。

ア 挨拶、身なり、時間など基本的な生活習慣を大切にさせる指導の中で、生徒一人一人の思いに耳を傾け、努力していることを認めて、生徒と教職員の信頼関係を築く。一人一人の生徒のもつよさや可能性を生かしながら、生徒の自主的・自律的な活動を促し、集団の一員としての責任や他を思いやる心を育てる。また、生徒への一貫した指導をととして、家庭や地域、教職員相互の信頼関係を構築する。

イ いじめや不登校、問題行動等の未然防止、早期発見・対応を重視する。家庭との連絡を密にするとともに、スクールカウンセラー等との連携を深めて、平素からきめ細かく、継続的且つ適切な指導と支援を行う。

ウ 生徒に奉仕活動や諸行事等の運営等に取り組ませ、成就感や達成感を味わわせる。(生徒会活動、委員会活動を活用し、計画・実行・振り返り(PDCA)を繰り返して行わせる。)

(5) キャリア教育

三年間を見通した指導計画を基に、自己の特性と進路についての考え方を深め、望ましい学習観や職業観を身に付けさせ、主体的に進路選択ができる能力を養う。

ア 自己を客観視し、自己の特性等を理解させていく中から「生き方を考えさせる指導」を進め、将来において自己実現を図ろうとする意欲や態度を育てる。

イ 面談や保護者会、進路だより等をととして、保護者の理解と協力を得て進路相談の充実を図り、個に応じた進路指導を進める。

(6) 特別支援教育

ア 特別支援教室担当教員やスクールカウンセラー、外部の専門機関等の専門性を活用し、特別な支援が必要な生徒に限らず、全生徒にとって適切且つ効果的な指導・支援を展開する。

イ 特別支援教育コーディネーターを中心に、特別な支援が必要な生徒、特別な支援が必要と思われる生徒の実態把握に努め、情報を共有し、早い段階から生徒の困り感に寄り添った指導・支援を進める。

ウ 特別支援教育校内委員会を中心に、実践的な支援や合理的な配慮の在り方を共有し、教職員の特別支援教育についての理解を深めるとともに支援技術の向上を図る。

7 地域・市民の信頼を深めるために

(1) 開かれた学校への取組

ア 保護者、地域等からの要望、意見等については、適切且つ丁寧に耳を傾け、求められていることを的確に把握して迅速に対応する。初期対応を重視するとともに、安易な返答を控え、組織的に対応する。

イ 地域行事等に生徒、教職員が積極的に参加するとともに、学校においては保護者、地域のボランティアを有効活用する。魅力ある行事や学校公開、保護者会、学校ホームページ等をととして、保護者・地域の学校教育活動への理解を深めさせる。

(2) 服務事故の防止

教育公務員であることを自覚し、職務の厳正に努める。

ア 体罰や生徒の人権を尊重しない言動等を厳に慎み、教育公務員としての更なる信頼の構築に努める。TPOにふさわしい身なり・服装、言動を心掛ける。学校は「公」の場であることを自覚する。

イ 公費・私費会計、個人情報(電子データ・紙媒体)は適切に処理し、チェック体制を整える。